

第21回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

Cグループリーグ第2戦		天候	晴	風	弱	ピッチの状態	良
<div>スプレットイーグルFC</div> <div>53分 増森</div>		1	<div><div>0</div><div>—</div><div>5</div></div> <div><div>1</div><div>—</div><div>2</div></div>	7	<div>ガンバ大阪</div> <div>2分 大西 35分 宇佐見</div> <div>8分 宇佐見 57分 宇佐見</div> <div>21分 望月 60分 膳</div> <div>23分 原口</div>		
シ ス テ ム		シ ス テ ム					
4-4-2		4-4-2					
<p>試合開始早々、ガンバ大阪⑦宇佐見がスプレットゴールへ切れ込む。今日のガンバ大阪を止めるにはこの宇佐見を徹底マークしなければいけない。しかし、開始1分コーナーキックから失点を許してしまう。まあ気を取り戻して、頑張ってもらいたいところだ。ところが6分ガンバは最も警戒をしなければいけない宇佐見に、ハーフウェイライン右からドリブルでゴール中央へ、そのままDF 3人を抜き去り、ゴール左隅へ強烈な2点目となるシュートをたたき込まれる。試合前、ガンバ大阪の上野山育成部長に、キーマンは誰かと聞いたら、迷わず7番と返答された。2年生ながらキャプテンを努め、ひとつ上カテゴリーの日本代表候補でもあり、実にすばらしい選手だ。</p> <p>一方、スプレットも攻めに出る。中盤でインターセプト⑪西村→⑩増村→⑥五十嵐へとつなぎ、ペナルティエリア付近で、フリーキックのチャンス。しかし、ボールはガンバGKのての中へと収まる。ガンバは15分⑦宇佐見が抜けだし、チャンスを作るがGK三浦が右手一本で阻止。だが、地力に優るガンバは21分⑦→⑩へとワンツーが繋がって3点目。23分、終了間際の35分と失点を重ね、0-5で前半を終了。ガンバのキックオフで後半開始。必死に食い下がろうとする気迫は感じられるが、不用意なパスがピンチを招く。</p> <p>しかし、40分⑩増森→⑪西村へのホットラインで、GKと1対1の場面を演出するが、ガンバGKの右足で阻止される。45分過ぎから、スプレットがペースをつかみ出す。⑪西村の突破、⑩増森のシュートと続くが、得点には至らない。53分ついにスプレットの得点が生まれる。ハーフウェイライン付近のフリーキックから⑨三上→⑩増森へと渡り、ペナルティエリアの外であったが、ためらわず振り抜いたシュートは低い弾道で左隅に突き刺さった。</p> <p>しかし、のんびり構えた振りをしていたのかガンバは、宇佐見が右ペナルティエリアから、DF 4人を切り裂き6点目を決める。60分にも7点目を決められ、リーグ戦2敗目を喫するゲームとなった。明日は2敗同士の対戦、得失点差も-11と同じで、勝ちにこだわる好ゲームが期待される。</p>							
戦評		加藤 孝俊					